

第 3 0 回岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2011 年 11 月 17 日(木) ～ 20 日(日)

表彰式 2011 年 11 月 20 日(日)午後 12 時 30 分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

おいかわ ひさし
審査員：及川 久 氏

<<絵画の部>> 出展数 56 点

賞	氏 名	作 品 名	作 品 評
知事賞	さとう えいこ 佐藤 英子	時の化石	東日本の震災からの創作と思われる諸々の事柄からイメージし悲しみを乗り越え平和と希望を表現した良い作品。
優秀賞	おおさわ かずえ 大澤 和江	寒 日	画面に展開される人物や建物などから何か温かい生活詩が出ているふるさとを思い出す作品。
奨励賞	つじ せいいち 辻 齊一	収穫－Ⅱ	堅実な描写力がより一層農作業の情感を深めているまとまりの良い絵。
奨励賞	すずき こ 鈴木 つや子	牧 場	牧歌的な風景との場面からも風の流れを感じられ堅実な描写がより一層情感を深めている作品。
佳 作	ほりまい えいこ 堀米 英子	デッサン画に集中	無理なく描き上げたところがより一層その情景を深めている作品。落ち着いた色感である。
佳 作	たけざわ きよし 竹澤 淳	晩 秋	気どりの構えもなく素直な情感の表出、軽やかに明るい、風も見える良い作品。
佳 作	さかもと ていこ 坂本 偵子	早春の岩手山	永遠に続く大自然の讃美を素直な情感で表現されている余情ある作品。
佳 作	すがわら のりお 菅原 紀夫	納戸の片隅で	大胆な構図と統一された色感、簡潔な描写力により静寂さをより一層高めている良い作品。

総 評

小品から 100 号の大作まで並ぶ展覧会は非常にめずらしいのですが、作品には作者の意図と気持ちが十分に描かれている。情感、色感、表出技術、材料それぞれ異なるがどの作品も一生懸命その力量に応じて描かれレベルの高いすばらしい良い作品の展覧会です。

第30回 岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2011年11月17日(木)～20日(日)
表彰式 2011年11月20日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

おがわ ふみお
審査員：小川 文男氏

<<写真の部 No. 1>> 出展数 94点

賞	氏 名	作 品 名	作 品 評
知事賞	おばら じゅんじ 小原 順次	食 う	日本画のような構成と色調。ピントの良さは抜群。「食う」ことに専念している顔に魅力あり。
優秀賞	くろき よしのり 黒木 義則	天からの手紙	着眼点が良い。イメージが広がっていく。テーマ設定が良い。
奨励賞	ふくもりた ひろし 福盛田 弘	清 冽	滝の水量が細く少ないのが良かった。全体の黒のしまりも申し分ない。
奨励賞	きたいざき のぼる 北井崎 昇	絆	動画を撮る父親。背負われている子供。運動会の現代が出ている。
奨励賞	さ さ き りつこ 佐々木 律子	もっと高く飛ばそ	動体の据え方が良かった。スナップ写真として申し分ない。
佳 作	ふくもりた み な こ 福盛田 美奈子	氷のシャンデリア	カラーバランスが上品。冷たさの中に明るさがあり、優しさもある。
佳 作	たいらだて とおる 平 舘 徹	過 密	カメラアングルの勝利。カメラ設定(ピント・シャッター・露光)最適。
佳 作	かなや き い こ 金谷 規倭子	それっ もう一杯	今まで見たことのないアングルと一瞬です。スナップ上手。
佳 作	よしだ いさお 吉田 功	氷 彩	構成の良さ、水面の色調、タテ位置、露光共に良い。
佳 作	くずまき 葛巻 ハル	水田に映える馬っ子	逆さにしたアイディア良い。緑の量の映り込み良い。
親子 ふれあい賞	ち だ ひさし 千田 久	ゆきあそび	雪原に青空のコントラストが気持ち良い。親子のたわむれが良い。
親子 ふれあい賞	すがわら いちろう 菅原 一郎	獲物はエビだ	親子の有り様が申し分ない。水鏡の調子も見事。
親子 ふれあい賞	おいかわ ふみお 及川 文夫	休日の親子	親子のそれぞれの首が自然で、ユーモアがあり、良いスナップ。

総 評

スナップ、ネーチャー、程に混在し、力作揃いで展示効果満点です。昨年より良い作品が集まりました。素材と表現の意味が理解されてきたのでしょうか。カラーバランスの調整をもう少し勉強されれば、尚優れた作品となるものがありました。

第30回 岩手県勤労者美術展 審査評

開催期間 2011年11月17日(木)～20日(日)

表彰式 2011年11月20日(日)午後12時30分～ 盛岡市民文化ホール・展示ホール

<<書道の部>> 出展数25点

よしだ しんぷう
審査員：吉田 晨風 氏

賞	氏 名	作 品 名	作 品 評
知事賞	さわふじ かせい 澤藤 華星	呉山詩	確かな運筆で、ゆるぎない文字造型。 重厚感あふれる線質、気脈の流れなどどこをと っても一級の作品。古い文字を使いながら現代 的なモダンな作品となっている。
優秀賞	すずき さとみ 鈴木 里美	劉禹錫詩	隸書ながら墨の潤渇をほどよく用い、気品ある 墨色の美しさが際立つ。 紙面全体を効果的に活用し、気力充実の作品。
奨励賞	たのおか せいけい 田之岡 青桂	七言二句	行間をひろくとりながらも行の響きが表現さ れたすばらしい作品。 自然な運筆が好感をもてる。
佳 作	さとう せいどう 佐藤 静堂	般若心経	般若心経を書き出しから最後まで一貫した気 脈で通し、確かな技量を感じる。震災後の気持 ちの不安のなか揮毫されたようで、祈りの気持 ちが素直に伝わってくる。
佳 作	かわした しほう 川下 子鳳	七言二句	書き慣れた行書で、自在な筆の動きが力量をあ らわしている。書法をよく身につけた作品。
佳 作	さくらば けいせん 櫻庭 蕙扇	耿漳詩	力のこもった運筆で、作者の力強い気持ちが伝 わってくる作品。難しい画仙紙を、墨量を多め にし、紙に負けない工夫もみられる。

総 評

漢字作品が多かったのですが、二×八尺の大作などたくさんの作品が出品され嬉しく思います。高いレベルの作が多かったなか、ことにも知事賞の澤藤さんの作品は圧巻でした。全体を通して、書作品は文字を扱う芸術なわけですから、自分の用いる題材にはどの人も慎重に向き合いたいもの、と感じました。この記念すべき30回展に出品された方々全員に心から感謝を申し上げます。次回さらにレベルアップした作品が寄せられることを祈り、このような発表の場を提供され芸術文化を大切に応援してくださる主催者にお礼を申し上げ、お互いにさらに努力していくことを誓いたいものです。